



**BEST
TOURISM
VILLAGES**
by UN Tourism

UN Tourism Best Tourism Villages (ベスト・ツーリズム・ビレッジ) の概要

Photo credits: Quang Nguyen Vinh

UN Tourism(世界観光機関)

責任ある、持続可能で、誰もが参加できる観光を促進することを責務とする国連の専門機関



- 設立：1975年
- 本部：スペイン、マドリード
- 加盟国等：160か国(準加盟国6、オブザーバー2)
民間企業、研究機関等による500の賛助加盟員
- 地域事務所：
アジア太平洋地域 奈良・日本
中東地域 リヤド・サウジアラビア
アメリカ地域 リオデジャネイロ・ブラジル



**BEST
TOURISM
VILLAGES**
by UN Tourism

Best Tourism Villages（ベスト・ツーリズム・ビレッジ）

概要：

社会に根差した価値観、産品、ライフスタイルを維持・促進し、経済、社会、環境のあらゆる側面において持続可能性に取り組んでいる農漁村観光地の優れた例を表彰

目的：

農村地域と関連する景観、知識体系、生物多様性・文化的多様性、地域の価値観や活動、食文化に至るまでを評価し保護する上で、観光が果たす役割を推進

【応募資格】

- 人口15,000人以下であること
- 農業、林業、畜産業、漁業等が重要な位置を占める景観にあること
- 地域コミュニティの価値観やライフスタイルを共有していること

評価の観点

持続可能な開発目標(SDGs)に関連する9項目

- ①文化・自然資源(SDGs 8、11、12、15)
- ②文化資源の振興と保全(SDGs 8, 11, 12)
- ③経済分野の持続可能性(SDGs 5、8、9、17)
- ④社会分野の持続可能性(SDGs 1、2、4、5、8、10、11、12、17)
- ⑤環境分野の持続可能性(SDGs 7、12、13、15、17)
- ⑥観光開発・バリューチェーンの強化(SDGs 8、9、10、12)
- ⑦観光分野のガバナンスと優先順位付け(SDGs 9、17)
- ⑧アクセス・インフラ(SDGs 9、17)
- ⑨公衆衛生、安心・安全(SDG 3)



ベスト・ツーリズム・ビレッジについて



ベストツーリズムビレッジ ネットワーク



ベストツーリズムビレッジ (BTV)

優れた文化・自然遺産を持つ
農漁村観光地

観光を通じて地域の持続可能な発展とコミュニティのウェルビーイングを目指す



BTVアップグレード プログラム

基準未達だが、
高い潜在能力がある地域

UN Tourismの助言で課題分野の改善を図る

【参考】世界のベストツーリズムビレッジのネットワーク

319
地域

[2021 to 2025 editions]

64か国

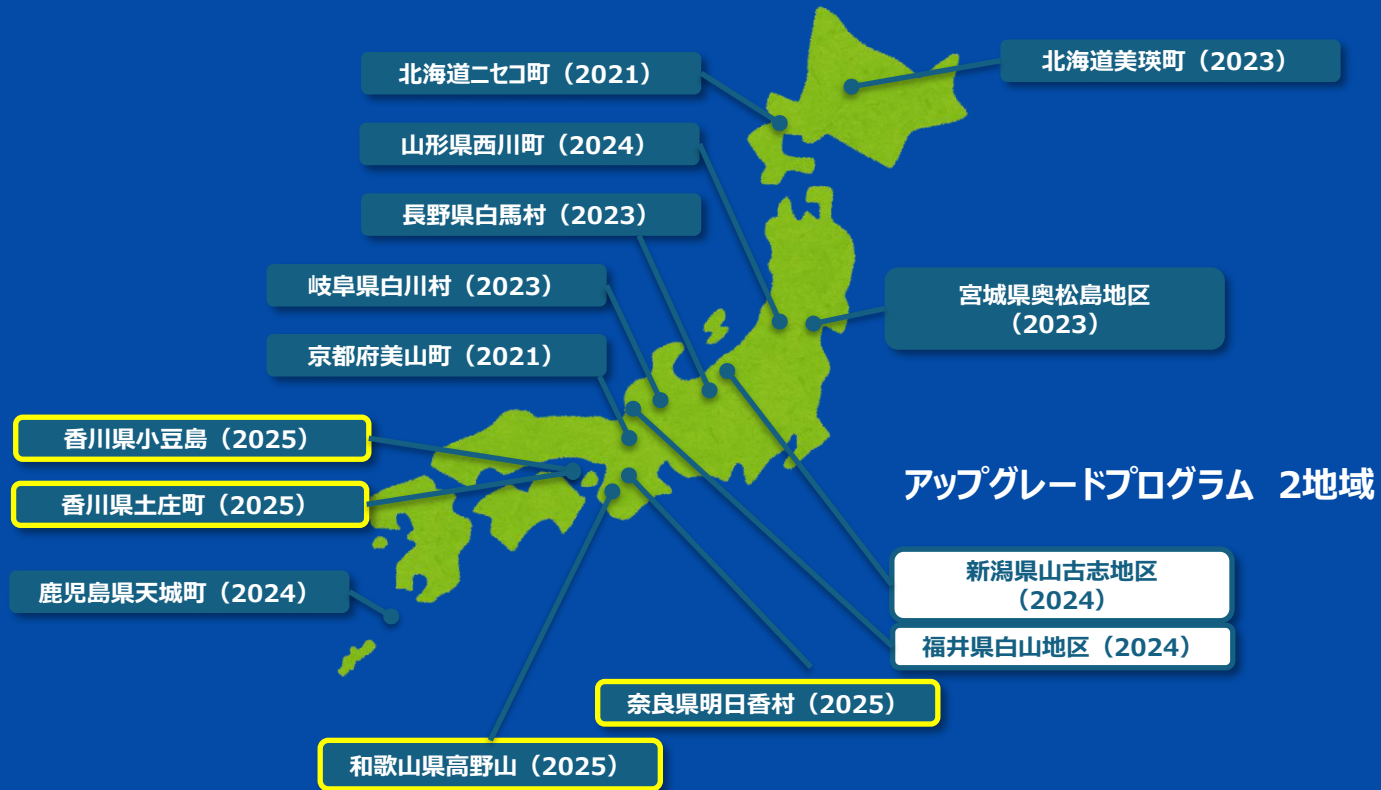
※内236
ベストツーリズム
ビレッジ



日本のベスト・ツーリズム・ビレッジ ネットワーク

※2025年10月末時点

ベスト・ツーリズム・ビレッジ 12地域



- 日本国内のBTVネットワーク参画地域間の連携を図り、情報共有及び相互啓発を行うとともに、持続可能な観光の取組の深化に資する活動を共に行うことにより、日本国内のBTVの観光の質及びブランド力の向上につなげる
- BTVの地域活動に関する日本モデルを構築し、世界に発信することを目指し、日本版BTV連携協議会を設置



総会
(各地域の長)

実務者会議
(各地域の実務担当者)

ワーキンググループ
(個別の事業毎に設定)

ご清聴ありがとうございました。

吉田 順子

プロジェクトコーディネーター、世界観光機関(UN Tourism)アジア太平洋地域事務所



UN Tourism